

### 登録 No.36 株式会社 宝荘ホテル(道後御湯)

2050年脱炭素社会実現に向け、次のことに取り組んでいます！

#### ○温泉使用量の削減

当館は温泉旅館ホテルとしては全国的にも珍しい「定休日」を設けています(毎週水曜日ほか年間定休日約70日)。宿泊客のいない休館日には道後温泉からの配湯を休止することで、1日あたり約54トンの温泉使用量の削減を行っております。また、シーズンオフや宿泊予約客数の少ない日にも、こまめに休止をすることで地域の大切な温泉資源を守ることに努めています。



「地域の資源の道後温泉を大切に使用しております」

#### ○省エネルギーの徹底

館内のすべての照明をLED化しており、当館の特徴的な外観照明にも全てLED照明を導入しています。また、外観のライトアップは日没時に自動オンする仕組みや、客室カードキー連動による入退室時の室内照明ON・OFF連動となっており館内での余分な電力を消費しない取り組みに努めています。



「館内および外観にはLED照明を採用」

#### ○客室アメニティグッズの脱プラスチック

宿泊客へ提供するアメニティグッズ(ハブラシ・クシ)の脱プラ化を推進しています。プラスチック以外の製品やプラスチック分量の少ない材料を使用したモノを採用することでプラゴミの削減を行い、環境への配慮に努めています。



- ・ハブラシは食用外のお米を35%配合したエコハンドルの製品を採用
- ・ヘアブラシは食用外のお米を20%配合した製品を採用。
- ・アメニティ類のパッケージはプラ削減のため紙を使用しています。
- ・飲料に使うストロー(客室、レストラン)は全て紙製の物に変更。

## 取組事例の紹介

### ○使用する水量削減への取り組み

客室、共用部のすべてのトイレは節水型洗浄機付き便座を使用しています。また、客室および大浴場のすべてのシャワーには0.001mmの超微細気泡(ウルトラファインバブル)を作り出すシャワーヘッドを採用。これにより肌の洗浄・保温・保湿に効果があるとともに、使用水量を従来より50%の節水効果に繋がっております。



「ウルトラファインバブルのシャワーヘッドを採用」

### ○客室ごとの省エネへの取り組み

すべての客室の空調(エアコン)は部屋ごとに独立のシステムとなっており、同じくすべての客室にある露天風呂も部屋ごとの個別システムを導入することでエネルギーの消費を抑える仕組みを採用しています。また、客室に装備している空気清浄機や液晶 TV などの家電製品類にはメーカー推奨の省エネ製品を導入しております。



「客室ごとの個別空調システムを採用」

### ○自然エネルギーの採用

ホテルに併設する自社所有の建物の屋上に太陽光発電のソーラーパネルを設置しており再生可能エネルギーを有効活用する仕組みを導入しております。



「併設する建物屋上に設置されたソーラーパネル」